

【主題名】 自己を見つめる

【教材名】「自分」ってなんだろう

【本時のねらい】

今の自分や他者の意見から自己を見つめ、自分らしく生きるために大切なことを話し合う活動を通して、自分の良さと弱さに向き合う大切さに気づき、よりよく生きるための実践意欲と態度を育む。

【指導の要点】

自己を肯定的に捉え、自己の優れている部分を発見し、自己の良いところを磨こうとする態度を育む。

【主題に関わる児童生徒の実態】

i-checkの質問項目「自分には良いところがある」のiスコアは、全国iスコアとほぼ同じである。

様々な行事を通して、集団を動かすことができるリーダーが現れだしている。しかし、まだ自分から行動できなかつたり、他者のために行動することができなかつたりする生徒が多い。理由としては、自分に自信を持つことができていないため、行動に移すことができないのではないかと考えられる。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・ これまでは、自分の良さに気づけていなかったが、友だちが教えてくれたことで自信がついた。このよさを生かして自分らしく生きていきたい。
- ・ これまでは、〇〇の部分が自分の弱さだと思って嫌だったが、みんなの意見を聞いてそれも自分らしさなんだと思った。自分の弱さも受け入れてこれからも生活していきたいと思った。
- ・ 自分らしく行動することは不安であるが、友達と認め合って理解し合えば、自分を出すことが怖くないかもしれないと思った。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

自分の良いところを考える。
自分らしく生活するにはどうすればよいか考える。

多面的・多角的に捉えるための工夫

仲間から見た自分の良いところを知る。
自分だけでなく仲間も自分らしく生きるためには、自分がどうしたらよいか考える。

主題に迫るための工夫

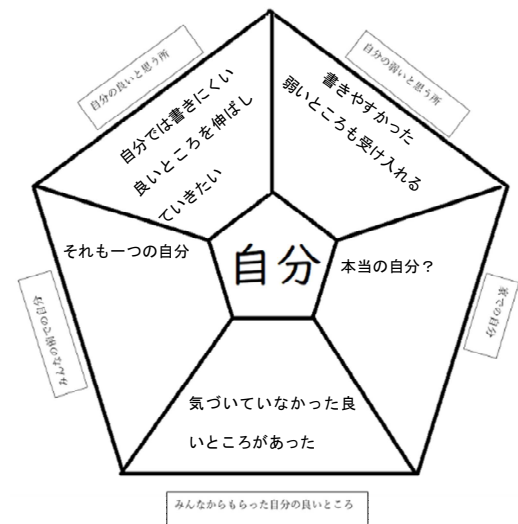
主観だけでなく、他者の評価から自己を見つめる。
自分らしさを出すことの抵抗感がどこから来るのか自分に問う。

ICT活用

教材の提示

弱いところ↓弱いところも受け入れて、さらに自分を成長させたい。
・ みんなの前の自分↓それも一つの自分だから。好きになりたい
・ 自分の良いところ↓どんどん良いところを伸ばして自信を持ちたい。

今の自分を見返して、これからの学校生活で輝かせたいところはどこだろう？その理由も書きましよう。



自分ってなんだろう？

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	<p>0. 今日は「自分」についていろいろな角度から考えることを伝える。 ○自分についての事前アンケート結果を見してみる。【自分について：初期】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の性格、良いところ ・自分の内面、内側
展開	<p>1. 「自信は得るもの？」を読み、自分の良さについて考える。 ○自分の中にある、良いと思うところを書きましょう。(WS) 【自分について：自分に気づく(良いところ)】 ・「良いと思うところ」を個人で考える時間</p> <p>2. 「自分を認める」を読んで自分の弱い所を書いてみる。 ○自分の弱いなと思うところを書きましょう (WS) 【自分について：自分に気づく(弱いところ)】</p> <p>◆良いところと弱いところはどちらが書きやすかった？ ◆弱いところはなぜ書きやすいのだろう？ ◆書きやすいのに認められないのはなぜだろう？ ◆良いところはなぜ、書きにくいのかな？ ・「自分を認める」に戻り、弱いところも自分ということを確認する。</p> <p>3. 仲間の良いところを書き合い、仲間にプレゼントする。 ○班の仲間の良さをみんなで考えて、プレゼントしましょう。(WS) ○良いところを言ってもらえる生徒はその声を聞く。その他の生徒の中でメモ係をつくり、出てきた良いところを書いていく。 ◆良いところを友達に教えてもらってどうだったかな？ ◆見つけたときはどんな気持ちで伝えましたか？ ・自分では気づいていなかった自分がいることを意識させる。 【自分について：他者から見た自分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気、誰とでも話すことができる、体育が得意 ・さぼってしまう、自分から行動できない、忘れ物が多い ・弱いところ ・良いところは認められないと書けない ・なんとなく ・自分でいうのは恥ずかしい・自信がないから・良いところがないから ・自慢しているように見える ・自分の強みや良さに気づいた ・見つけてくれて感謝している ・自分が分からないところを見つけてくれた ・意外とあるんだなあ

	<p>4. 「学校での自分」と「家での自分」について書く。(WS)</p> <p>【自分について：他者と自分との関係】</p> <p>○学校での自分と家にいるときの自分が同じ人と違う人を確認する。</p> <p>◆「家での自分」と「みんなの前での自分」、本当の自分はどれだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家での自分」、「みんなの前での自分」、「両方」の選択肢から挙手をする。 <p>○4コマ「本当の自分？」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれも本当の自分であることに気づかせる。 <p>5. コラムを読んだり、たくさん出てきた「自分」を見返したりしながら、中心発問について考える。(WS)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[中心発問] 自分をさらに輝かせるにはどうすればよいだろう？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・家での自分→無理していない ・みんなの前での自分→友達の前でのほうが気楽 ・両方→どちらも同じ、<u>どっちも自分</u> <ul style="list-style-type: none"> ・弱さを認める→自分の弱みを輝かせて好きになりたい ・弱いところ→弱いところも受け入れて、さらに自分を成長させたい ・みんなの前の自分→それも1つの自分だから、自分を好きになりたい ・自分の良いところ→どんどん良いところを伸ばして自信を持ちたい ・仲間からもらった良いところ→気づいていなかったところもあるからそこを伸ばしていきたい
<p>終末</p>	<p>6. 自分にプラスワン【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 ・全体で何名かの考えを共有し、感想を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、自分の良さに気づけていなかったが、友達が教えてくれたことで自信がついた。この良さを生かして自分らしく生きていきたい。 ・これまでは、〇〇の部分が自分の弱さだと思って嫌だったが、みんなの意見を聞いてそれも自分らしさなんだと思った。自分の弱さも受け入れてこれからも生活していきたいと思った。 ・自分らしく行動することは不安であるが、友達と認め合って理解し合えば、自分を出すことが怖くないかもしれないと思った。

【評価の視点】

- ・(自己との関わり) 自分らしく生きるために、自分の良さ・弱さについて考え、それらすべてが自分であると考えている。
- ・(多面的・多角的) 自分らしさを出すために、自分のことだけでなく、仲間の自分らしさを出すために自分ができることを考えている。